

## ◎景気ウォッチャー調査[2024年3月]

### 2024年3月の中国地域調査結果の概況

#### ■景気の現状に対する評価

現在の景気を3か月前と比較するとその評価は次のとおりであった。

景気の現状判断D I (合計)は、前月を5.4ポイント上回る54.8となった。

分野別にみると、家計動向関連は、「やや悪くなっている」の回答の割合が減少し、「新型コロナウイルス感染症が終息し、来客数が着実に新型コロナウイルス感染症発生前の水準まで戻りつつある。」(商店街)、「年度末であることや送別会が開催される時期であることなどから、2月より来客数が増えている。また、欧米人の観光客が非常に増えている。」(一般レストラン)等の理由から、「良くなっている」、「やや良くなっている」の回答の割合が増加したため、前月を5.5ポイント上回る54.8となった。

企業動向関連は、「やや悪くなっている」、「悪くなっている」の回答の割合が減少し、「繁忙状態が続いている。」(輸送用機械器具製造業)等の理由から、「良くなっている」の回答の割合が増加したため、前月を2.4ポイント上回る49.3となった。

雇用関連は、「やや悪くなっている」の回答の割合が減少し、「人材紹介において、求職者からの問合せ数が前月比130%、前年同月比160%となっている。」(民間職業紹介機関)、「求職者数が増え、求人数や派遣料金も増加傾向にある。」(人材派遣会社)等の理由から、「良くなっている」、「やや良くなっている」の回答の割合が増加したため、前月を11.8ポイント上回る66.2となった。

	3月	2月	前月差
合計	54.8	49.4	5.4
家計動向関連	54.8	49.3	5.5
企業動向関連	49.3	46.9	2.4
雇用関連 (参考値)	66.2	54.4	11.8

#### ■景気の先行きに対する評価

現在より3か月先の景気の先行きに対する評価は次のとおりであった。

景気の先行き判断D I (合計)は、前月を0.4ポイント上回る53.0となった。

分野別にみると、家計動向関連は、「悪くなる」の回答の割合が減少し、「新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類に引き下げられて初めての花見やゴールデンウィーク需要が見込めるため、売上増加が期待できる。」(スーパー)、「国内団体旅行の予約はまだまだであるが、ファミリーや団体合宿など先行予約が好調である。」(観光型ホテル)等の理由から、「やや良くなる」の回答の割合が増加したため、前月を1.2ポイント上回る54.1となった。

企業動向関連は、「やや悪くなる」、「悪くなる」の回答の割合が減少し、「良くなる」の回答の割合が増加したため、前月を3.3ポイント上回る47.8となった。

雇用関連は、「やや良くなる」の回答の割合が減少したため、前月を10.3ポイント下回る55.9となった。

	3月	2月	前月差
合計	53.0	52.6	0.4
家計動向関連	54.1	52.9	1.2
企業動向関連	47.8	44.5	3.3
雇用関連 (参考値)	55.9	66.2	-10.3